

注目

今月は宮村 寛子さんが登場します。

宮村さんは、ご近所同士の付き合いが希薄になってきている現在、お年寄りから子どもまでみんなが安心して生活できる環境づくりについて提言されます。

心豊かに暮らせる環境づくりを

二十一世紀の子どもたちの多くは経済的、物質的な不便さを感じていないでしょう。

しかし、心の豊かさという点ではどうでしょうか。

世間では、子どもやお年寄りが関わる悲しい出来事がありにも多すぎます。地域社会での人と人との絆が弱くなっていることなのでしょう。

一昔前であれば、我が家のすぐそばで元気に子どもたちは遊び、ご近所同士で子どもの成長を見守れた。子どもが一人で遊んでいけば、隣のおばあさんが声をかけ遊んでく

な地域社会でよいのでしょうか。せめて、自分達の住んでいる地域は、お互いが安心して暮らせる心豊かな環境にしたいものです。



みんなが一緒に遊べる施設を

そこで、提案ですが、笠岡市にお年寄りや親も子どもも一緒に遊べるような施設をつ

くつてみてはどうでしょうか。子どもをめぐってのご近所

同士の付き合いが希薄になりつつある中でも、この施設に

くれば一日中、子どもと大人親と親がふれあい、お互いが感性を磨き心豊かになれる、という場所である。

進み、過疎化している状況です。この状況を打破するためにも、これから担う若い人達

我が街笠岡市には幸いにして広大かつ自然が広がる干拓地があります。春には菜の花畑となり、夏にはひまわりが咲き季節ごとに楽しみがある。

例え、昆虫が集まり、足を浸したり、魚釣りができる小川、木登りや芝生の中を素

ことも、それを維持していくことは環境保全の意義を学ぶことにもつながるのではない

子どもも一緒に楽しめる料理教室、もの作り体験、自然科学の観察、実験、天体観測、農業体験、音楽や絵画に親

地域や環境から守られて、心豊かに成長し、人々は安心して老後も暮らしていけるのようになります。子どもも若者もお年寄りもみんな我が街のかけがいのない「宝」なので

黄の色の しばらくつづく

ひまわりの中歩む人 生き生きとして

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せて

お便り…〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一

企画政策課モニター係

☎2110 FAX 2228